

# 平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

9款 5項 2目

第4章 明日へつながるまちづくり

基本施策5 歴史・文化資産の保全・活用

【会計】一般会計

施策1 歴史・文化を普及します

9款:教育費 5項:社会教育費 2目:文化財保護費

事業	235	日本遺産活用推進事業
担当所属		文化課

## 【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
8,675千円	6,075千円				2,600千円

## 【事業の概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会への参加。・日本遺産サミット(富山県高岡市)への参加。</li><li>・城下町佐倉の祭礼用具の修復、佐倉囃子の普及啓発を通じて地域の活性化を図ります</li><li>・甲冑・武家衣装の試着体験の実施。・「古今佐倉真佐子」現代語板編集作業</li></ul>
事業の目的	日本遺産のブランド力を高め、北総四都市の歴史・文化資産を活用することで、地域を活性化すると同時に、城下町佐倉をよく知り愛着を持つ人の増加を図ります。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・「城下町佐倉」のイメージ向上</li><li>・外国人観光客をはじめとする交流人口の増加</li><li>・佐倉を訪れたい、住みたい、住んでいてよかったと感じる人びとの増加</li></ul>

## 【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
報償金及び謝礼金	200千円	古今佐倉真佐子の現代語訳指導
9 旅費		
特別旅費	136千円	職員の出張に要する交通費(目的が特定されるもの)
11 需用費		
消耗品費	80千円	日本遺産普及事業用
印刷製本費	195千円	日本遺産チラシ
12 役務費		
筆耕翻訳料	500千円	古今佐倉真佐子の現代語訳
19 負担金補助及び交付金		
日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会負担金	50千円	日本遺産北総四都市江戸紀行協議会に対する負担金
文化財保存整備補助金	7,514千円	文化財保存整備補助金(旧佐倉町祭礼用具修復等)
計	8,675千円	

## 【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
日本遺産普及事業件数	3件
日本遺産構成文化財を対象とした補助事業件数	3件
引き回し可能な旧佐倉町山車の台数	4台
文化財施設3館の入館者数	53,000人
佐倉を歴史文化豊かなまちと思う市民の割合	68%